

令和4年上半期（1月から6月まで）の 火災状況について（簡易版）

★火災件数は2,068件でした（前年より86件減少）。

★火災による死者は59人（前年より14人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は48人でした。

★火災による負傷者は391人（前年より23人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は132人でした。

★主な出火原因の上位3位は、「たばこ」が318件で最も多く、次いで「放火（疑い含む）」が300件、ガステーブル等が172件でした。

～令和4年上半期（1月から6月まで）の火災の特徴について～

★電気設備機器火災の増加と死者の増加。

⇒令和4年上半期における電気設備機器の火災件数は755件で、全火災件数の36.5%を占め、前年同期と比べ52件増加し、5年平均と比べると106件増加。

⇒死者の発生状況は、令和元年に次いで多く発生している状況であり、住宅火災による高齢者の死者は42人で最近5年間で最も多く発生しています。

前年同期と比べ、住宅火災の件数は減少しているが、死者数は10人増加しており、電気設備機器関連の火災で15人の死者が発生しています。